

平成 23 年 1 月 21 日

**【照会先】**

職業安定局派遣・有期労働対策部  
若年者雇用対策室

室 長 久知良 俊二 (内線 5862)

室長補佐 仙田 亮 (内線 5691)

(代 表 電 話) 03-5253-1111

(直 通 電 話) 03-3597-0331

報道関係者 各位

## 「卒業前最後の集中支援」の実施について ～文部科学省・経済産業省と連携し、未内定者の就職支援を強化します～

新規大学卒業予定者等の就職環境が非常に厳しいことを踏まえ、本日、「新卒者雇用・特命チーム」が開催されました（別紙1）。

この中で、厚生労働省・文部科学省・経済産業省が連携し、一人でも多くの方が卒業までに就職が決定するよう、未内定者を対象とした「卒業前最後の集中支援」を実施することが決定されました（別紙2）。

このため、関係各省の連携等により未内定者の就職支援を強化し、

- ① 既卒者を雇用する事業主への奨励金（※）の未内定者への特例的適用（平成23年2月1日）
- ② 中小企業団体に対する奨励金の活用要請【経済産業省と連携】
- ③ 奨励金を活用した求人開拓の徹底
- ④ 大学等とジョブサポーターとの情報共有による個別支援の徹底【文部科学省と連携】
- ⑤ 民間就職情報サイトを通じたジョブサポーター・新卒応援ハローワーク等の周知
- ⑥ 中小・中堅企業を中心とした就職面接会の追加開催

に努め、卒業までに1人でも多くの方の就職が決定するよう全力を尽くしてまいります。

また、新卒者雇用・特命チームでは、総理から、就職活動を続けている未内定の学生の皆様に対する応援のメッセージがありました（別紙3）。就職活動でお困りの方は、一人で悩まず、是非「新卒応援ハローワーク」にお越しいただき、ジョブサポーターに相談いただきますようお願いいたします。

なお、文部科学省・経済産業省においても同内容の発表を行っております。

※ 「3年以内既卒者トライアル雇用奨励金」・「既卒者育成支援奨励金」（高校・大学等が対象）、「3年以内既卒者（新卒扱い）採用拡大奨励金」（大学等が対象）について、既卒者（既に卒業した方）を対象にしておりましたが、平成22年度限りの措置として、2月1日より、卒業年次の未内定者（卒業前の方）も前倒しで対象とし、未内定者の採用機会を増やしています。（ご利用にあたっては事前にハローワークにご相談ください。）

## 新卒者雇用・特命チーム メンバー

チーム・リーダー 寺田 学 内閣総理大臣補佐官

サブ・リーダー 和田 隆志 内閣府大臣政務官

笠 浩史 文部科学大臣政務官

小林 正夫 厚生労働大臣政務官

田嶋 要 経済産業大臣政務官

### チーム・メンバー

内閣府大臣官房審議官（経済財政運営担当）

大久保幸夫内閣府参与

文部科学省大臣官房総括審議官

厚生労働省職業安定局派遣・有期労働対策部長

経済産業省大臣官房審議官（経済社会政策担当）



# 「卒業前最後の集中支援」の実施

新規大学卒業予定者等の就職環境が非常に厳しいことを踏まえ、厚生労働省、文部科学省、経済産業省は、1人でも多くの方が卒業までに就職できるよう、未内定者を対象に「卒業前最後の集中支援」を実施します。

## 【未内定者支援の課題】

- ①未内定者は既卒者と違い、企業が採用するインセンティブがない
- ②誰にも相談できず孤立・就活戦線の中心が3年生に移行
- ③学生が「ジョブサポーター」や「新卒応援ハローワーク」を知らない
- ④企業とのマッチングの機会が不足

## 関係各省の連携による「卒業前最後の集中支援」

### 既卒者を雇用する事業主への奨励金の未内定者への特例的適用 中小企業団体への最後の活用要請・奨励金を活用した最後の求人開拓

「経済対策」等により創設した卒業後3年以内の既卒者を採用した事業主への奨励金の対象者を拡充、未内定者の採用機会を増やします【厚労省（平成23年2月1日より）】。さらに、この奨励金の活用を中小企業団体に対して要請し【経産省】、ハローワークにおいても、奨励金を活用した求人開拓を徹底【厚労省】、未内定者のための求人を確保します。

### 大学等とジョブサポーターとの情報共有による個別支援の徹底

大学等が支援を希望する未内定者を把握し、新卒応援ハローワーク等のジョブサポーターと情報共有する【文科省】などにより、ジョブサポーターが未内定者に電話等により連絡、中小企業を中心に個別マッチングを実施します【厚労省】。

### 民間就職情報サイトを通じたジョブサポーター・新卒応援ハローワーク等の周知

主要な民間就職情報サイトに対し、ジョブサポーターや新卒応援ハローワーク等の周知のためのバナー掲載について協力を要請し、民間就職情報サイトも活用して周知を徹底します【厚労省】。

### 中小・中堅企業を中心とした就職面接会の追加開催

未内定者のマッチング機会を拡げるために、中小・中堅企業を中心とした就職面接会（平成23年1月21日から3月末までに、大学生向け131回（昨年88回）、高校生向け104回（昨年110回））を行います【厚労省】。

※この他に、大都市圏での土曜日の特別相談【厚労省】、未内定者の保護者への働きかけ【厚労省】を行います。

# ハローワークで新卒者の就職支援を進めています！

ハローワークにおいては、「経済対策」（平成22年9月10日閣議決定）及び「緊急総合経済対策」（平成22年10月8日閣議決定）に基づき、新卒者支援を進めています。

～新卒者（就職活動中の学生・既卒者）への支援を充実しました～

## ○全都道府県にワンストップで新卒者を支援する「新卒応援ハローワーク」を設置

全都道府県に、就職活動中の学生・既卒者の皆様が利用しやすい専門のハローワークとして、平成22年9月24日から「新卒応援ハローワーク」（平成22年12月1日現在56カ所）を設置しました。お気軽にご利用ください。

**【実績】 のべ90,177人が利用、7,601人が就職決定（いずれも平成22年9月24日～12月末）**

（主な支援メニュー）

- ・全国ネットワークによる豊富な求人情報の提供、職業紹介、中小企業とのマッチング、求人開拓、就職活動に役立つ各種セミナー
- ・就職までの一貫した担当者制による個別支援（求人情報の提供、就職活動の進め方、エントリーシートの添削、面接指導等）
- ・臨床心理士による心理的サポート

※ 新卒応援ハローワークの所在地・連絡先はこちら→ <http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/05.html>

## ○「ジョブサポーター」の倍増によるきめ細かな支援

「大卒・高卒就職ジョブサポーター」を倍増（928人→1,753人（経済対策（平成22年9月10日））→2,003人（緊急総合経済対策（平成22年10月8日））し、きめ細かな支援を行っています。

**【実績】 15,892人（平成22年9月～12月末）の就職が決定、  
27,798人（平成22年10月～12月末）の求人を開拓**

（大卒就職ジョブサポーターの支援内容）

大学等と連携した出張相談・就職支援セミナー、新卒応援ハローワークにおいて就職活動中の学生・既卒者への個別支援（エントリーシートの作成相談、面接指導、応募先の選定など）及び求人開拓等を実施

（高卒就職ジョブサポーターの支援内容）

学校と密接に連携し、求人情報の提供、職業適性検査や各種ガイダンス・セミナー、求人開拓、未内定者に対する一貫した個別支援（職業相談、応募先の選定、面接指導等）等を実施



# ～3年以内の既卒者の新卒扱いの普及に取り組んでいます～

## ○「青少年雇用機会確保指針」を改正しました（「卒業後3年間は新卒扱い」を明記）

雇用対策法に基づく「青少年雇用機会確保指針」（※1）を改正（平成22年11月15日）し、事業主が取り組むべき措置として、学校等を卒業後少なくとも3年間は新卒として応募できるようにすることを盛り込み、厚生労働大臣より主要な経済団体等に協力を要請しました（※2）。また、労働局・ハローワークにおいても事業主の皆様への周知を進めていきます。

※1 雇用対策法第7条において事業主の努力義務として、「青少年の雇用機会の確保」が定められています。事業主が具体的に取り組むべき事項を定めたものが「青少年雇用機会確保指針」です。

※2 平成22年11月15日に245団体に厚生労働大臣より要請書を送付

（要請書全文：<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000000wgq1-img/2r9852000000wgut.pdf>）

## ○3年以内の既卒者を採用する企業への奨励金を創設しました

卒業後3年以内の既卒者を採用する事業主を支援するために、平成22年9月24日にこれらの方を採用する事業主への奨励金制度を創設しました。さらに11月26日より長期に育成支援が必要な方への支援を充実させました。

**【実績】 5,900人が雇用開始（平成22年9月24日～平成23年1月9日）**

### ①3年以内の既卒者を対象にトライアル雇用を行う企業への奨励金（「3年以内既卒者トライアル雇用奨励金」）

卒業後3年以内の既卒者（高校・大学等が対象）を正規雇用へ向けて育成するため、まずは有期で雇用し、その後正規雇用へ移行させる事業主に対し、ハローワークにおいて支給。（平成22年9月24日～）【有期雇用（原則3か月）1人月10万円、正規雇用から3か月経過後に50万円】

**対象求人数 155,190人      トライアル雇用開始者数 5,442人      （平成22年9月24日～平成23年1月9日）**

### ②長期に育成支援が必要な3年以内の既卒者を対象にトライアル雇用を行う企業への奨励金（「既卒者育成支援奨励金」）

長期の育成支援が必要な既卒者（高校・大学等が対象）を有期雇用し、育成のうえ正規雇用に移行させる成長分野（健康、環境分野及び関連するものづくり分野）の中小企業の事業主に対し、ハローワークにおいて支給。（平成22年11月26日～）【①に加え、有期雇用期間を原則3か月のOFF-JT期間を含む原則6か月に延長。さらにOFF-JT期間は各月5万円を上限に教育訓練経費の実費を上乗せ】

### ③新卒扱いで3年以内の既卒者を採用する企業への奨励金（「3年以内既卒者（新卒扱い）採用拡大奨励金」）

卒業後3年以内の既卒者（大学等が対象）も応募可能な新卒求人を提出し、既卒者を正規雇用する事業主に対し、ハローワークにおいて支給。（平成22年9月24日～）【正規雇用から6か月経過後に100万円、1事業所1回限り】

**対象求人数 19,583人      採用者数 458人      （平成22年9月24日～平成23年1月9日）**

「新卒者雇用・特命チーム」における  
総理メッセージ

就職活動を続けている未内定の学生の皆様は、本当に厳しい就職環境の中、大変なご苦勞をなさっていることと承知しています。

私たちは、何とか皆様の力になりたいと思っています。就職活動で困ったことがあれば、一人で悩まずに、「新卒応援ハローワーク」にお越しいただき、「ジョブサポーター」に相談して下さい。

政府は、皆様が卒業までに就職できるよう、全力で支援をいたします。

また、意欲と能力のある若者が、就職できないということは、本人だけではなく、国家・社会にとっても大きな損失です。

企業の皆様には、未内定の学生のために求人をご提出いただき、積極的な採用をお願いします。

企業が未内定の方を雇いやすくするために、既卒者を採用する事業主向けの奨励金を拡充し、未内定者も特例として助成対象とすることとしました。

こうした支援策も活用いただき、未内定の学生にチャンスを与えてください。

ハローワークのジョブサポーター・職員の皆様、大学等で就職支援を行っているキャリアカウンセラーの皆様もそれぞれの現場で、一生懸命、学生の支援に当たっていただいております、大変感謝しています。

ジョブサポーターの支援により、9月から12月までで1万6千人の就職が決定する等、大きな成果を上げており、皆様のこれまでの努力に感謝いたします。

1人でも多くの方が卒業までに就職できるよう、これからも皆様が十分に連携し、全力を尽くしていただくようお願いします。

平成23年1月21日  
内閣総理大臣 菅 直人